

5月号

はった

令和3年5月27日



風薫る5月に入って爽やかな好天の日々を期待していたのですが、例年よりかなり早い梅雨入りとなり、不安定な気候が続いています。八田地域の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

5月に予定していた公民館の事業も兵庫県に緊急事態宣言が再び発令されたこともあり、延期を余儀なくされました。今後の感染状況をみながら判断し、何とか6月後半から7月中には実施したいと考えております。

5月末地域に広がる緑のジュータン

さて、コロナ禍ではありますが、各区では感染対策を十分にしながら少しずつ事業を進めておられます。その中で、千原区の「百歳体操」、鐘尾区と宮脇区では「生き生きサロン」を訪問させていただき、健康の保持増進に取り組まれたり、歌やゲーム・会話を通して楽しく活動されている様子を見させていただきました。取材のご協力、ありがとうございました。



千原区 百歳体操



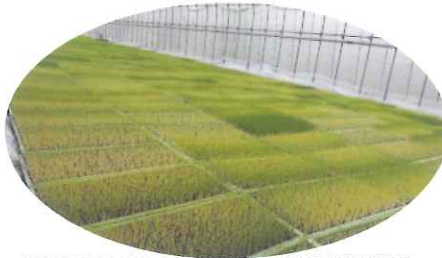
宮脇区 生き生きサロン



鐘尾区  
生き生き  
サロン



5月のはじめ、八田地区の多くの田で「田植え」が行われました。  
秋には、豊作となりますように！



育苗ハウスで育つ苗



3週間で順調に生育 ↓



## 八田コミセン新館長より

この度、大森前館長の後任として八田コミュニティセンターに着任しました植村です。浜坂地域に在住していますが、生まれは奥八田です。子供の頃に八田小と奥八田小で運動会の交流がありました。当時は児童数も多く、賑やかで楽しかった時代が懐かしく思い出されます。時の移り変わりと共に、少子高齢化が社会現象となり、八田地域もこの課題に向き合っていかなければなりません。人の集まりを通じて少しでも賑やかになるように、来館者と施設利用者増員を目標に掲げて尽力して頑張ります。宜しくお願いします。

【八田コミセン館長 植村匡継】